

## STAR CHANNEL MOVIES

第88回アカデミー賞®外国語映画賞フィンランド代表作品

# 『ここに剣士を』 12月24日(土)全国公開決定！

株式会社東北新社（東京都港区・植村徹社長）は1950年代のエストニアを舞台に、元フェンシングのスター選手と子供たちの絆を描く、実話を基にした映画『ここに剣士を』（原題：THE FENCER）を、STAR CHANNEL MOVIESとして配給、12月24日(土)よりヒューマンラストシネマ有楽町ほかにて全国公開いたします。

監督は『ヤコブへの手紙』のクラウス・ハロ。フィンランドを代表する映画監督として高く評価されており、今までに監督を務めた長編全5作品のうち、本作を含む4作品が米国アカデミー賞®外国語映画賞のフィンランド代表作品に選ばれています。2004年にはスウェーデンのアカデミー賞といわれる“イングマル・ベルイマン賞”も受賞。スウェーデン人以外の監督としては初受賞の快挙を成しとげ、巨匠ベルイマン監督本人から称えられました。

今年の第88回アカデミー賞®外国語映画賞のフィンランド代表作品であり、第73回ゴールデングローブ賞外国語映画賞にもノミネートされました。

フェンシングという“まっすぐに相手と向き合い、必要とあらば立ち向かう”スポーツを通して描かれる感動の物語に、ぜひご注目ください。

### 〈STORY〉

1950年代初頭のエストニアの田舎町ハーブサル。元フェンシング選手のエンデルは、ソ連の秘密警察から身を隠し、小学校の教師として勤め始める。

そこは生徒たちの多くがソ連の圧政によって親を奪われ、どこか鬱屈した雰囲気のある学校だった。実は子供が苦手なエンデルだったが、課外授業でフェンシングを教えることになり、学ぶ喜びに輝く彼らの瞳に、いつしか心が変わっていった。

ある時、子どもたちが、レニングラード(現・ Санктペテルブルク)で開催される全国大会に出場したいと言い出した。秘密警察の目を恐れてためらうエンデルだったが、子供たちの夢を叶えようと決心する。レニングラードで彼らを待ち受けている出来事とは？子供たちとエンデル、それぞれの戦いが始まる。

### ■『ここに剣士を』

監督：クラウス・ハロ

出演：マルト・アヴァンディ、ウルスラ・ラタセップ、レンビット・ウルフサク、  
リーサ・コッペル、ヨナス・コッフ

配給：東北新社 STAR CHANNEL MOVIES

原題：THE FENCER

2015年 / フィンランド・エストニア・ドイツ / シネスコ / カラー / 99分

「STAR CHANNEL MOVIES」とは、“映画館でもTVでも、スターチャンネル(BS10)が厳選した良作を”をコンセプトに世界中から厳選した、映画本来の魅力が詰まった良質の作品を劇場公開、公開後はスターチャンネルにて独占日本初放送でお届けするプロジェクトです。

## ここに 剣士を

2015年  
アカデミー賞®  
外国語映画賞  
2015年  
ゴールデングローブ賞  
外国語映画賞



© 2015 MAKING MOVIES/KICK FILM GmbH/ALLFILM

### 東北新社会社概要

代表者：植村徹

設立：1961年4月1日

資本金：24億8,700万円

事業内容：総合映像プロダクション

<http://www.tfc.co.jp/>

## 12月24日(土)ヒューマンラストシネマ有楽町ほか全国ロードショー